

令和8(2026)年度
熊本大学大学院社会文化科学教育部
人間・社会科学専攻
文化学専攻
(博士後期課程)
進学者選考要項

出願期間	令和8年 1月 5日(月)～1月 9日(金)17時[必着]
試験日	令和8年 2月28日(土)
合格発表日	令和8年 3月11日(水)



社会文化科学教育部博士後期課程の理念・目的

社会文化科学教育部博士後期課程では、現代社会において、人文社会科学及び教授システム学等の知識とこれらを基盤とした実践知を駆使し、地域や行政・企業の多様な場で中核的人材として活躍する高度専門職業人を養成するとともに、学際領域を含む諸学の研究教育拠点として、日本の学術を牽引し、世界の知の発展に貢献する研究を推進し、それを担う研究者を養成することを目的とします。

アドミッション・ポリシー

<人間・社会科学専攻>

◆求める学生像

人間・社会科学専攻は、公共政策学、法学、交渉紛争解決学、先端倫理学、フィールドリサーチ及び認知哲学・心理学の各領域に関して、最先端の学問水準に基づく高度な研究を遂行する研究者を志す人、及び学術知と実践知の融合により地域においてまた国際的に活躍できる高度専門職業人をめざす人を求める。

1. 公共政策学領域において研究者および高度専門職業人をめざす人
2. 法学領域において研究者および高度専門職業人をめざす人
3. 交渉紛争解決学領域において研究者および高度専門職業人をめざす人
4. 先端倫理学領域において研究者および高度専門職業人をめざす人
5. フィールドリサーチ領域において研究者および高度専門職業人をめざす人
6. 認知哲学・心理学領域において研究者および高度専門職業人をめざす人

<文化学専攻>

◆求める学生像

文化学専攻は、英語教授学、歴史学、考古学、民俗学、日本・東アジア・欧米の言語と文学の諸領域において、文化的諸課題に関する自立的な研究活動を遂行することのできる、豊かな学識を基盤とした、より高度な研究能力、専門性、応用力を育むことを目標とする。以上のような観点から、本専攻は次のような人を求める。

1. 英語教授学領域：応用言語学、英語教育学、第二言語習得論、心理言語学、研究方法論等の最新の理論的枠組み・研究成果を批判的に考究し、現在の英語教育が抱える理論的・実践的課題への応用を図り、研究者および高度専門職業人をめざす人
2. 歴史学領域：高度の専門的学力を身に付け、研究機関において学術の発展に寄与することをめざす人、また博物館や自治体等において文化行政業務の質的向上をめざす人
3. 日本・東アジア文化学領域：日本と東アジアの民俗文化、言語、文芸それぞれに関する研究を深めるとともに、東アジアの文化全般にわたる知見を身に付け、各専門分野の研究者および高度専門職業人をめざす人
4. 欧米文化学領域：英米語学・文学、ドイツ語学・文学、フランス語学・文学をはじめとする各専門分野における研究者および高度専門職業人をめざす人
5. 現代文化資源学領域：現代文化にかかわる各専門分野における研究者及び高度専門職業人をめざす人

目 次

I. 募集人員	1
II. 出願資格	1
III. 出願手続	1
1. 出願期間等	1
2. 出願書類等	1
IV. 選考方法	2
V. 選考日時及び場所	2
VI. 選考結果発表	3
VII. 進学手続	3
VIII. 授業料免除申請	3
IX. 奨学金	4
X. その他	4
1. 昼夜開講制	4
2. 長期履修制度	4
3. 障がい等を有する入学志願者との事前相談	4
4. 注意事項	4
問合せ先	5
令和7年度入学試験実施状況表	5
入学・進学志願票記入上の注意	6
出身大学所在地コード	7
個人情報の取り扱い	(巻末)

添付書類

以下の出願書類のうち、①、②は人社・教育系事務課社会文化科学教育部教務担当で「学生募集【出願要項】」を別途配付します。

③は以下の Web サイトよりダウンロードできます。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuinnyushi/shabun>

- ①入学・進学志願票
- ②写真票・受験票・住所票
- ③研究計画書

台風等の自然災害の影響により試験日時等を変更する場合は、本学 Web サイト (<https://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp/>) に掲載しお知らせしますので、最新情報をご確認ください。

I. 募集人員

専攻	領域	募集人員
人間・社会科学専攻	公共政策学領域 法学領域 交渉紛争解決学領域 先端倫理学領域 フィールドリサーチ領域 認知哲学・心理学領域	若干名
文化学専攻	英語教授学領域 歴史学領域 日本・東アジア文化学領域 欧米文化学領域 現代文化資源学領域	若干名

II. 出願資格

熊本大学大学院各教育部・研究科修士課程、博士前期課程（以下「修士課程等」という）を、令和8年3月修了見込みの者

III. 出願手続

1. 出願期間等

- (1) 令和8年1月5日(月)～1月9日(金)17時〔必着〕
- (2) 持参する場合は、9時から17時までとします。
- (3) 郵送する場合は、封筒の表面に「大学院社会文化科学教育部進学志願票在中」と朱書きし、「簡易書留速達」としてください。
ただし、これより後に到着したものは、1月7日(水)(日本国内)までの消印のあるものに限り受け付けます。郵便事情を考慮して早めに発送してください。

〔提出先〕 〒860-8555

熊本市黒髪中央区2丁目40番1号

熊本大学人社・教育系事務課社会文化科学教育部教務担当

2. 出願書類等

志願者は、次の書類等を一括して提出してください。

提出書類等	摘 要
入 学 ・ 進 学 志 願 票	所定用紙：6ページの「記入上の注意」を参照してください。
写真票・受験票・住所票	所定用紙
写 真 （ 2 枚 ）	写真は、縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向きで出願3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票に貼ってください。
成 績 証 明 書 (オリジナルを提出のこと。 コピーは不可)	本学大学院(修士課程等)の教育部長が作成し、厳封したもの。
修 了 見 込 証 明 書 (オリジナルを提出のこと。 コピーは不可)	本学大学院(修士課程等)の教育部長が作成したもの。

修 士 論 文 等 ※提出部数 4部	修士論文又は特定の課題についての研究の成果のコピー及びその論文要旨(和文で2,000字程度)を提出してください。 場合によっては、外国語による提出を認めることがあります。その場合は、事前に5ページの[問合せ先]に問い合わせてください。 上記論文等がない場合は、今までの研究成果を取りまとめた研究レポート(和文の場合8,000字程度)を提出してください。
研 究 計 画 書	所定様式: 1.これまでの研究経過 2.今後の研究テーマ 3.今後の研究計画 場合によっては、外国語による提出を認めることがあります。その場合は、事前に5ページの[問合せ先]に問い合わせてください。 所定の「研究計画書」を使用してください。
研 究 論 文 (業 績) 等 ※提出部数 4部 (※任意提出)	修士論文等以外に、著書・研究論文及び報告書等、研究業績・成果を取りまとめたものがある場合は、提出してください。 (上記の「修士論文等」で提出する資料と重複する場合は不要です。) 提出書類は一切返却しませんので、研究業績等は複写したものを提出してください。
受験票返送用レターパック	レターパックライトに郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を明記したもの。 ※ご依頼主様保管用シールは剥がさないでください。
住民票又は在留カードの写し (※外国人志願者のみ)	住民票または在留カードの写しを提出してください。出願者以外の世帯員については証明不要です。出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートをコピーしたものを提出してください。

- (注) 1. 出願書類を受理した後は、記載事項の変更及び出願書類の返還等はできません。
2. 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
3. 出願書類に虚偽の記載及び不正な申告があった場合は、進学許可を取り消すことがあります。
4. 改姓等により、証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合は戸籍抄本(コピー不可)を添付してください。
5. 証明書については、オリジナルが1部しか発行されない場合で、提出後に返還を要する場合は返還を希望する旨と該当する証明書を記載したメモ等を添付してください。
6. 入学・進学志願票及びその他の書類については、必ず志願者本人が、後で消せない黒のボールペンを使用し、楷書で明確に記入してください。鉛筆や消せるペンの使用は認めません。

IV. 選考方法

進学者の選考は、書面審査、面接試験及び出願書類を総合して行います。

(1)書面審査 修士論文等について審査します。

(2)面接試験 修士論文等及び研究計画書を中心に行います。
外国人志願者には、日本語能力を問うこともあります。

V. 選考日時及び場所

試 験 日	試験科目	試験時間	試験場所
令和8年 2月28日(土)	面接試験	13:30～	熊本大学 黒髪北地区

※面接試験の時間割及び試験室等については、試験当日案内します。

VI. 選考結果発表

令和8年3月11日(水)

合格者には合格通知書を郵送します。不合格者に対する通知は行いません。

なお、参考までに、熊本大学の Web サイト(<https://www.kumamoto-u.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。(11時頃予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。)

合格通知書の氏名については、コンピュータに登録する際に慣用字体を用いますので、志願票の表記と異なる場合があります。また、対応できない場合は、カタカナで表記しますのでご了承ください。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

VII. 進学手続

(1) 進学手続

進学手続期間及び方法等詳細については、合格通知書送付の際にお知らせします。

※進学手続はインターネット入学手続システムを利用して行います。

なお、進学手続期間中に手続をしなかった者は、進学を辞退したものとして取り扱います。

※入学料は不要です。

(2) 授業料

年額 535,800 円 (前期分 267,900 円 後期分 267,900 円)(予定額)

※授業料は、進学後の4月に前期分を納入してください。

※入学時及び在学時に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 災害救助法適用地域で被災した世帯の免除制度について

災害救助法が適用される災害で、学資負担者が災害救助法適用地域に居住し、被災したことにより、入学料及び授業料の納付が困難な世帯の者を対象として、本人の申請に基づき選考のうえ許可された場合、入学料及び授業料の全額又は半額の納付が免除(半額免除の場合で入学料徴収猶予が許可された場合は入学料の納付が一定期間猶予)される制度があります。

※災害発生後 1 年以内に納付する入学料及び授業料を対象とします。

問合せ先: 熊本大学学生支援部学生生活課経済支援担当 電話 096-342-2126

VIII. 授業料免除申請

授業料免除申請資格に該当する者を対象として、本人の申請に基づき選考のうえ許可された場合、全額又は半額の納付が免除される制度があります。

免除は、申請者のうち学力基準と家計基準の両方を満たした者について、本学の予算の範囲内で、家計困窮度の高い者から順に選考を行います。

このうち、学力基準は、学業成績等が本人の属する教育部が定める基準以上の者となります。このため、学力基準を満たしていない場合は、家計基準が厳しい状況でも授業料免除は許可されません。

このため、授業料免除においては、学力基準を満たしていない場合は、家計困窮度が高い状況でも授業料免除は許可されません。

また、入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたことで入学料及び授業料の納付が困難な世帯の者を対象として、本人の申請に基づき選考のうえ許可された場合、入学料及び授業料の全額又は半額の納付が免除(半額免除の場合で入学料徴収猶予が許可された場合は入学料の納付が一定期間猶予)される制度があります。

この他にも、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変したことで授業料の納付が困難な世帯の者を対象として、本人の申請に基づき選考のうえ許可された場合、授業料の全額又は半額の納付が免除される制度があります。

IX. 奨学金

日本学生支援機構奨学金の申込みを行い、奨学生に採用された場合、第一種奨学金(月額 80,000 円、122,000 円から選択)、又は第二種奨学金(月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円から選択)の貸与を受けることができます。その他、地方公共団体及び民間団体の奨学金制度もあります。

X. その他

1. 昼夜開講制

社会人の入学者については、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による教育(昼夜開講制)を実施します。

夜間の授業時間帯は次のとおりです。

第6時限 18:10～19:40

第7時限 19:50～21:20

なお、社会人学生の研究計画と履修計画を考慮し、夜間以外の特定の時間あるいは時期において授業又は研究指導を行うことがありますので、研究計画及び履修計画については入学後に指導教員と協議してください。

2. 長期履修制度

本教育部では、職業を有していたり、育児、介護等の事情を有している等により、標準修業年限(3年)を超えて一定の期間(最大6年まで)にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者については、審査の上許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は、標準修業年限による修了者と同じになります。

この制度の詳細については、5ページ記載の[問合せ先]にお問い合わせください。

3. 障がい等を有する入学志願者との事前相談

障がい等を有する入学志願者で、本学において受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和7年 11月 27 日(木)までに人社・教育系事務課社会文化科学教育部教務担当へ相談してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することがあり、本学の試験までに対応できず受験上の配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

<相談の方法>

- ① 事前相談票及び医師の診断書を下記記載の問合せ先に郵送により提出してください。

なお、必要な場合は本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面接を行うことがあります。

- ② 事前相談票は、以下の本学 Web サイト掲載の様式を利用してください。

- ③ 配慮の内容については、以下本学 Web サイト掲載の「これまで実施した受験上の配慮の例」を参考にしてください。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuinnyushi/>

4. 注意事項

受験の際は、受験票を必ず持参してください。また、試験中は携帯電話等の電源を切ってください。

〔問合せ先〕 〒860－8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
 熊本大学人社・教育系事務課
 社会文化科学教育部教務担当
 (電 話) 096－342－2399
 (FAX) 096－342－2310
 (E-mail) jsj-daigakuin@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【英語での問合せ先】Contact information
 (E-mail) jsj-daigakuin@jimu.kumamoto-u.ac.jp

令和7年度入学試験実施状況表

専攻	募集 人員	領域	出願者数						受験者数						合格者数						入学者数					
			一般	社会人	留学生	進学者	領域別 合計	専攻別 合計	一般	社会人	留学生	進学者	領域別 合計	専攻別 合計	一般	社会人	留学生	進学者	領域別 合計	専攻別 合計	一般	社会人	留学生	進学者	領域別 合計	専攻別 合計
人間・社会科学専攻	6	公共政策学領域	0	0	0	1	1	7	0	0	0	1	1	7	0	0	0	1	1	7	0	0	0	1	1	7
		法学領域	0	0	1	2	3		0	0	1	2	3		0	0	1	2	3		0	0	1	2	3	
		交渉紛争解決学領域	0	0	0	1	1		0	0	0	1	1		0	0	0	1	1		0	0	0	1	1	
		先端倫理学領域	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
		フィールドリサーチ領域	0	0	2	0	2		0	0	2	0	2		0	0	2	0	2		0	0	2	0	2	
		認知哲学・心理学領域	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
文化学専攻	6	英語教授学領域	1	0	0	0	1	5	1	0	0	0	1	4	1	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	3
		歴史学領域	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
		日本・東アジア文化学領域	0	0	0	1	1		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
		欧米文化学領域	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
		現代文化資源学領域	1	0	1	1	3		1	0	1	1	3		0	0	1	1	2		0	0	1	1	2	
合計	12		2	0	4	6	12	12	2	0	4	5	11	11	1	0	4	5	10	10	1	0	4	5	10	10

【社会文化科学教育部(博士後期課程)入学・進学志願票記入上の注意】

1. 入試区分等

「入試区分」 該当する入試区分の番号を○で囲んでください。
「受験番号※」 記入しないでください。

2. 氏名

「フリガナ」 氏と名を分けて記入してください。
「氏名」 氏と名を分けて記入してください。

3. 生年月日等

「生年月日」 生年月日を西暦4桁、月・日2桁の合計8桁で記入してください。
例)平成12年8月3日生→20000803
「性別」 該当する性別の番号を○で囲んでください。

4. 国籍

ご自身の国籍を記入してください。

5. 旧学生番号

熊本大学大学院の修士課程又は博士前期課程の修了予定者で、期間を挟まずに社会文化科学教育部に志願される方(研究生を含む)は、現在の学生番号を記入してください。これに該当しない方は記入の必要はありません。

6. 出願資格(出身大学等)

「出身大学等所在地」 卒業した大学の所在地の都道府県名を記入してください。
「出身大学所在地コード」 別表1を参照の上、2桁のコードを記入してください。例)熊本県→43
「大学等卒業年月」 大学等を卒業した年月を西暦4桁、月2桁の合計6桁で記入してください。
「出身大学等」 国立・公立・私立の中から該当する番号を○で囲んでください。
卒業した大学名、学部名、学科名を記入してください。
大学卒業以外の方はできる限り詳細に卒業学校を記入してください。

出願資格(修士課程等)

「出身大学院所在地」 【熊本県】と記入してください。
「出身大学院等所在地コード」 【43】と記入してください
「出身大学院等」 【国立】を○で囲んでください。
修了した大学院名、研究科名、専攻名を記入してください。
課程は該当する番号を○で囲んでください。
「出身大学等コード」 【0384】とご記入下さい。
「修了見込・修了の別」 該当する番号を○で囲んでください。
「修了(見込)年月(西暦)」 修了(見込み)の年月を西暦4桁、月2桁の合計6桁で記入してください。

7. 志望専攻等

「志望専攻」 志望する専攻名の番号を○で囲んでください。
「志望領域」 志望する領域名を記入してください。
「志望領域コード」 志望する領域名のコードを、下表を参照の上、記入してください。

領域(人間・社会科学専攻)	コード	領域(文化学専攻)	コード
公共政策学領域	1	英語教授学領域	1
法学領域	2	歴史学領域	2
交渉紛争解決学領域	3	日本・東アジア文化学領域	3
先端倫理学領域	4	欧米文化学領域	4
フィールドリサーチ領域	5	現代文化資源学領域	5
認知哲学・心理学領域	6		

「希望指導教員名」 希望指導教員がいれば記入してください。

8. 住所

「現住所」 郵便番号、現住所、メールアドレス、電話番号を記入してください。
「緊急連絡先」 現住所以外に緊急連絡先があれば記入してください。

9. 社会人区分

入学が許可された場合、その後の状況が次に該当するときは「1」を、該当しない場合は「2」を○で囲んでください。
・給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている方
(ただし、企業等を退職した方及び主婦の方も含みます。)

10. 留学生区分

留学生である場合は、該当する番号を○で囲んでください。
留学生でない場合は記入の必要はありません。

履歴事項について

「学歴」 学歴は高等学校卒業から記入し、履歴事項は漏れなく記入してください。
外国人志願者は、日本の小学校に相当する学校からの学校教育のすべてを記載してください。
また、学校所在地は番地まで詳細に記載してください。
「職歴」 在職中の者は、職歴欄の最後に入学後の予定を記載してください。
(例:在職のまま・休職・退職・未定等)

出身大学所在地コード(別表1)

県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等
01	北海道	13	東京都	25	滋賀県	37	香川県	50	外国
02	青森県	14	神奈川県	26	京都府	38	愛媛県		
03	岩手県	15	新潟県	27	大阪府	39	高知県		
04	宮城県	16	富山県	28	兵庫県	40	福岡県		
05	秋田県	17	石川県	29	奈良県	41	佐賀県		
06	山形県	18	福井県	30	和歌山県	42	長崎県		
07	福島県	19	山梨県	31	鳥取県	43	熊本県		
08	茨城県	20	長野県	32	島根県	44	大分県		
09	栃木県	21	岐阜県	33	岡山県	45	宮崎県		
10	群馬県	22	静岡県	34	広島県	46	鹿児島県		
11	埼玉県	23	愛知県	35	山口県	47	沖縄県		
12	千葉県	24	三重県	36	徳島県				

出願、受験及び授業科目等に関する問合せは、次のところでお受けします。

〒860－8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
熊本大学人社・教育系事務課
社会文化科学教育部教務担当
TEL 096－342－2399
※問合せ時間 平日 9:00～17:00

【英語での問合せ先】

(E-mail) jsj-daigakuin@jimu.kumamoto-u.ac.jp

個人情報の取り扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、入学選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に係る業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など修学に係る業務で利用します。
- (3) 入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係る業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係る業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学選抜等に関する調査・研究等に係る業務に利用します。

※本学が取得した個人情報は、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。